



# ARIA: シミュレーション連携で実現するリアルタイム被害予測

ARIA

名古屋大学/情報通信研究機構/北陸先端科学技術大学院大学 (代表) 廣井 慧

キーワード

水害被害予測、シミュレーション連携、データ同化、応急対策・訓練

世界各地で頻発する水害リスクを削減するため、**減災オープンプラットフォーム“ARIA”**を開発しています。ARIAは従来、個別に運用されている水害の被害解析に関するシミュレータやシステムを、融合させてひとつのシステムとして運用するプラットフォームです。



ARIAは、次のような特徴をもっています。

- 複数の異なるシミュレータ、システム間でデータをインタラクティブに交換できるため、災害時のリアルタイムな人や車の動き、冠水、情報通信等の相互影響を導出し被害を予測
- 圧倒的に高速に予測結果を導出できるため [1市町村あたり～数日→ARIA:5分程度]、これまで難しかった被害の全容把握・予測ができ、氾濫予測、避難タイミングなど最適な防災対応策の検討へ活用可能
- 降水量や河川水位の観測網、現在利用されているシミュレータ、システムとも容易に連携でき、**全国1718市町村で現在の観測データに基づいた被害予測・避難誘導**に即時利用可能
- 台風その他、**猶予時間の少ないゲリラ豪雨などすべての水害**でのリアルタイム被害予測や過去の水害データを利用した訓練などへの活用が可能